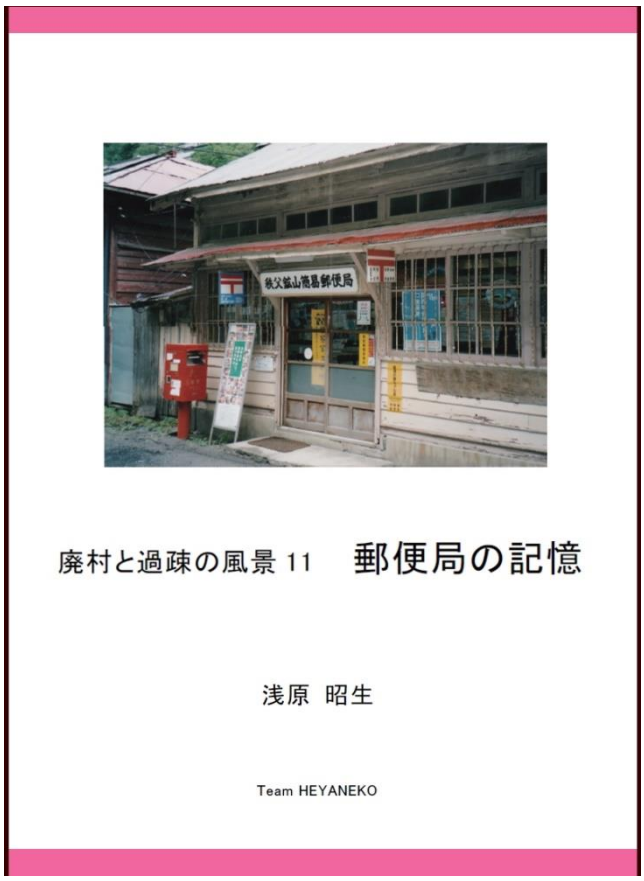
2023年２月下旬
完成

廃村と過疎の風景 11

郵便局の記憶

著者　　浅原昭生
　　Team HEYANEKO 代表
発行　　Team HEYANEKO
定価　　770 円（10％税込）
体裁　　B5 判・40 ページ（カラー）



北海道から広島県まで ６ヵ所の
往時の郵便局舎が残る廃村を訪ねる

廃村や高度過疎集落を訪ねると、郵便局跡に出会うことがある。局舎には独特の存在感があり、旅人にその地の歴史を語りかけてくれるようだ。

この冊子では、全国各地の廃村を旅する著者が出会った６ヵ所の往時の郵便局舎が残る廃村について、その歴史や現況などをまとめている。

学校とともにかつての集落に欠かせなかった「郵便局」の跡に残る雰囲気を感じてほしい。

岩手県宮古市 田老鉱山の郵便局跡局舎（2022 年 3 月）

《目　次》

1　北海道雄武町**上幌内（かみほろない）**
　かつての交通の要に残る郵便局舎
2　北海道八雲町**八雲鉱山（やくもこうざん）**
　山小屋として活き続ける郵便局舎
3　岩手県宮古市**田老鉱山（たろうこうざん）**
　研究施設として使われた郵便局舎
4　埼玉県秩父市**小倉沢（おぐらさわ）**
　令和直前まで続いた鉱山簡易郵便局
5　奈良県上北山村**東の川（ひがしのかわ）**
　無住化後も続いたへき地簡易郵便局
6　広島県福山市**藤尾堂前（ふじおどうのまえ）**
　村役場所在廃村にひっそりと局舎が残る

コラム
＊ 集配郵便局、無集配郵便局
＊ 直営郵便局、簡易郵便局
＊ 炭山郵便局、駅逓所（北海道の郵便局）
＊ 離島郵便局（南の島の郵便局）
＊ へき地郵便局（自治体規模の廃村の郵便局）
＊ 離島、へき地の郵便ポスト
「郵便局があった廃校廃村」リスト（95 ヵ所）